

九州経済圏貿易統計のポイントについて (令和3年1月分：速報)

<対世界>

- 輸出総額:6,340 億円(伸率: +5.4%) ⇒ 2か月連続のプラス
 - ・順位:90位、1月としては5位
(順位は、昭和54(1979)年1月以降(505か月、1月は43か月)による。以下同じ。)
 - ・増加品目:半導体等製造装置(同2.3倍)、プラスチック(同+42.6%)
- 輸入総額:5,019 億円(伸率:▲12.3%) ⇒ 22か月連続のマイナス
 - ・順位:157位、1月としては15位
 - ・減少品目:原粗油(同▲33.4%)、自動車の部分品(同▲27.3%)
- 差引額:1,321 億円(伸率:4.6倍) ⇒ 73か月連続の輸出超過
 - ・順位:44位、1月としては1位
 - 為替レート:2021年1月:103.57円/ドル(2020年1月:109.30円/ドルと比べ5.2%の円高)

<品目別動向>

○輸出

半導体等製造装置(226億円→521億円、伸率:2.3倍)は、韓国(120億円→375億円、同3.1倍)及び中国(69億円→135億円、同+95.2%)向けが増加し、10か月連続のプラスとなった。また、プラスチック(229億円→326億円、同+42.6%)は、中国(90億円→130億円、同+44.6%)及び韓国(58億円→84億円、同+42.9%)向けが増加し、5か月連続のプラスとなった。

一方、船舶(488億円→261億円、同▲46.5%)は、パナマ(209億円→31億円、同▲85.2%)及びEU(58億円→実績なし)向けが減少し、2か月ぶりのマイナスとなった。

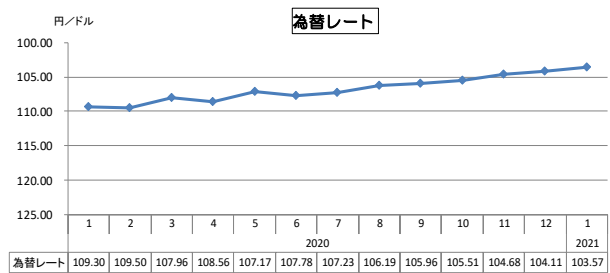
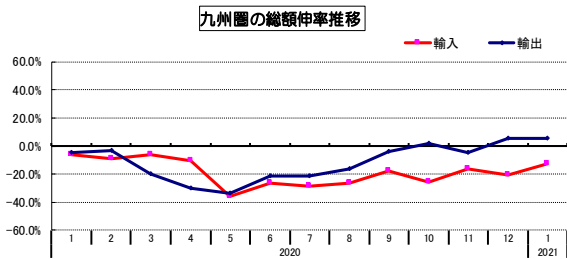
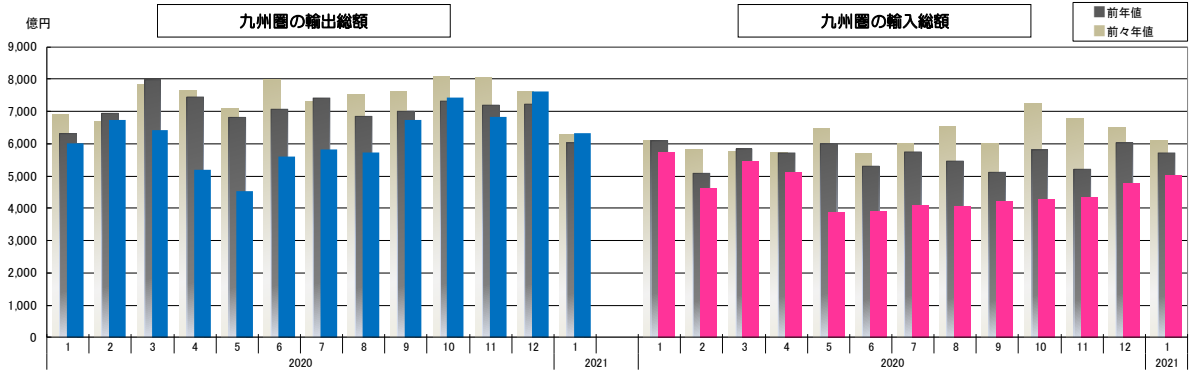
○輸入

原粗油(238万KL→241万KL、伸率:+1.6%、1,159億円→772億円、同▲33.4%)は、数量が増加したものの、価額は減少し、10か月連続のマイナスとなった。また、自動車の部分品(171億円→125億円、同▲27.3%)は、メキシコ(26億円→8億円、同▲69.3%)及び中国(68億円→58億円、同▲14.4%)からが減少し、18か月連続のマイナスとなった。

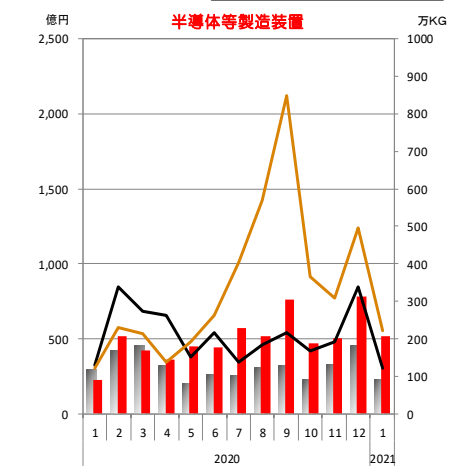
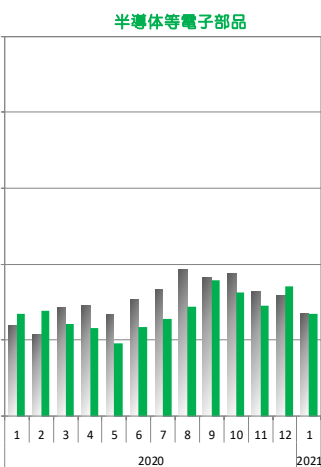
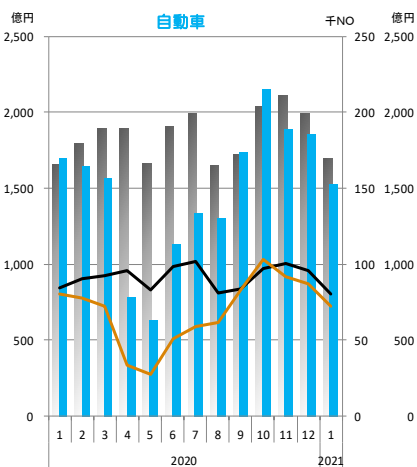
一方、液化天然ガス(42万MT→50万MT、同+18.4%、216億円→381億円、同+76.3%)は、数量、価額ともに増加し、4か月ぶりのプラスとなった。

※ 伸率及び増加・減少は、すべて対前年同月比

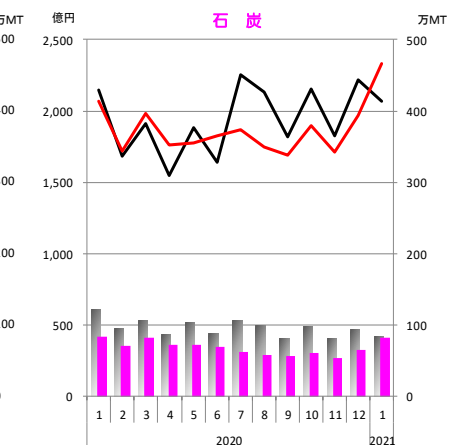
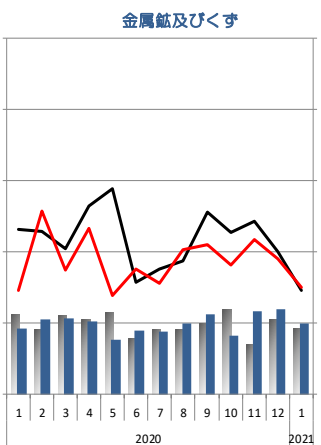
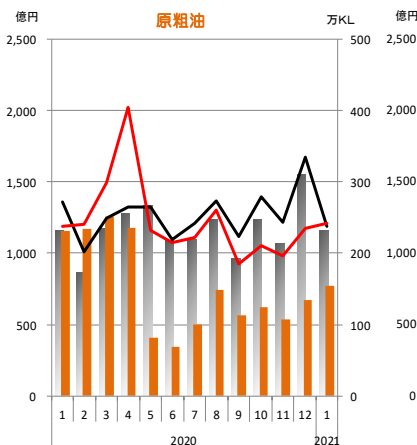
令和3年1月分：速報



九州圏の輸出主要品目推移



九州圏の輸入主要品目推移



※この内容を引用されるときは、「門司税関発表による」と付記してください。